

令和6年度 つくば市立栄小学校 グランドデザイン

本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・しょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる



桜学園教育目標

夢をもち、自立して社会に貢献する児童・生徒の育成



学校教育目標

認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

つくば市教育大綱

- ・「教え」から「学び」へ
- ・「管理」から「自己決定」へ
- ・「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ

学校教育推進の柱

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健やかな体を育む教育の推進
- 4 時代の変化に対応できる教育の推進
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

目指す児童像

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

組織目標

- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
- 誰もが楽しいと感じる居場所づくり・絆づくり

つくば市の目指す 学園・学校像

みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～ 自己実現できる学校・
みんなで支えあい
みんなが生き生きした学校～

目指す教師像

- 自らの人間性・社会性・専門性を高めていける教師
- 児童・保護者・地域から信頼され慕われる教師
- 児童の可能性を引き出すことができる教師

学校経営理念

「子どもも教師も個性を生かし、
共に学び続けることで互いに成長できる学校」

- 誰もが自分の良さを発揮し、活躍できる場の創出
- 自ら学ぶ意欲を高め、生きる力の育成を図る豊かな学びの展開
- Challenge（挑戦）&Change（変化）の具現化

目指す学校像

- 児童が毎日楽しいと感じる学校
- 教職員が働きがいを実感できる学校
- 保護者や地域から信頼される学校

学園研究テーマ

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成～主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して～

学びのプロジェクト 学びあいプラン

《確かな学力を育む教育の推進》

- 児童の力を最大限に発揮し、伸ばしていく授業の展開
- ・児童の主体的な学びを促す多様な授業の提供や教科担任制の推進
- ・自律的な学習者の育成を目指した「教え」から「学び」への転換
- ・児童の理解を高め、思考を深める効果的な ICT 活用

【数値目標】

「確かな学力」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

生徒指導の充実プロジェクト ふれ合いプラン

《豊かな心を育む教育の推進》

- 夢・感動のある楽しい集団づくり
- ・「居場所づくり」、「絆づくり」を目指した学級経営の推進
- ・児童の主体的活動を引き出すための児童主役の学校行事の実施
- ・思いやりの心を育てる「特別の教科道徳」の指導の工夫
- ・日常生活の諸問題を自ら解決しようとする自治的能力の育成（ルールメイキング）

【数値目標】

「豊かな心」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

安心・安全プロジェクト 鍛えあいプラン

《健やかな体を育む教育の推進》

- 活力ある生活を送るための健康・体力づくり
- ・基礎体力アップを目指した運動習慣づくり
- ・運動能力向上に向けた体育科学習指導の工夫
- ・心身の健康維持に向けた自己管理能力の育成

【数値目標】

「進んで体力づくり」をしていると答える児童 80%

開かれた学校づくりプロジェクト 磨きあいプラン

《桜学園小中一貫教育の推進》

- 小中連携
- ・研究発表会に向けた授業研究
- ・クリーン作戦、マナーアップ運動など桜学園共同の特別活動の充実
- ・防災意識の高揚のため桜学園合同の地域防災訓練の実施
- 保幼小連携
- ・相互授業参観等の定期的な実施
- ・保幼小連絡会議の実施

【数値目標】

「小中一貫教育」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

安全で安心な学校

《安心・安全な学校環境づくり》

- ・防犯諸団体等との連携と保護者への情報提供
- ・危機管理マニュアル点検と全職員による共通理解
- ・保護者や地域と連携した学園合同防災訓練の実施
- ・安全点検の実施と速やかな対応
- ・児童の危機回避能力の育成
- ・相談体制・支援体制の充実

【数値目標】

「けが等に気を付けて自分でよく考えて行動している」と答える児童 80%

信頼と活力のある学校

《信頼と活力ある学校づくり》

- ・学校ホームページ等による積極的な情報発信
- ・学校評価の積極的な活用
- ・コミュニティ・スクールの積極的な推進

《教職員の資質の向上》

- ・教育公務員としてのコンプライアンスの遵守
- ・授業力の向上と将来を見通した自己研鑽の推奨

【数値目標】

教育活動のねらいや児童の様子が保護者によく伝わっているという評価の割合が 90%

教職員のワークライフバランス

《働き方改革・メンタルヘルスケアの推進》

- ・週時程の見直し
- ・業務内容や行事内容の精選・見直し
- ・校務のデジタル化の推進
- ・教員評価面談の充実

【数値目標】

勤務時間外在校等時間の月 45 時間以内、年間 360 時間以内